

PAT-NO: JP357055224A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 57055224 A
TITLE: MOTORCYCLE PROVIDED WITH TURBOCHARGER
PUBN-DATE: April 2, 1982

INVENTOR-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
KIMURA, HIROSHI	
MINAMI, TOSHIHARU	

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
YAMAHA MOTOR CO LTD	N/A

APPL-NO: JP55128146

APPL-DATE: September 16, 1980

INT-CL (IPC): B60K013/04 , B60K013/02

ABSTRACT:

PURPOSE: To prevent a driver from adverse effect of exhaust pipe heat by aggregating and extending exhaust pipes below an engine be connected to a turbocharger.

CONSTITUTION: Exhaust pipes 19 are aggregated 20 below an engine 1 into a pipe member 21 to be connected to a turbocharger 23 provided between the engine 1 and a rear wheel 3. Since the exhaust pipes are aggregated below the engine 1, the shape of the aggregate can be freely designed, and a driver is prevented from an adverse effect of heat since no exhaust pipe is at the side of the engine.

COPYRIGHT: (C)1982,JPO&Japio

よる吸気干渉を防止する機能を果す。

一方、渦巻ポンプ(23b)とエアクリーナ⁴及びサージタンク⁴を接続する管部材⁴は車体フレーム(A)の内側において配管されるが、渦巻ポンプ(23b)、エアクリーナ⁴、サージタンク⁴が互いに近接して配置されているから、その管部材⁴の長さが短くて済みエアクリーナ⁴から気化器⁴までの通路長さを可及的に短くして吸気抵抗を小さくできる。

しかしして、上記ターボチャージャー⁴に接続される管部材⁴、エアクリーナ⁴及びサージタンク⁴が夫々車体フレーム(A)の内側に配置されているから、自動二輪車の倒伏時それらがターボチャージャー⁴とともに車体フレーム(A)で保護され、それらの損傷を防止することができる。

本発明は、叙上の如くターボチャージャーをエンジン後部と移輪との間に配置すると共に、エンジンの各気筒に接続されたエキゾーストパイプをエンジン下部で集合させ、その集合部の下流側を延長して上記ターボチャージャーに接続したので、

特開昭57-55224(3)

エキゾーストパイプをエンジン下部の広いスペースを利用して密に集合させることができると共に、その集合のさせ方も自由に設定できる。

また、エキゾーストパイプが従来のもののようにエンジン側方に位置しないから、エキゾーストパイプの熱による搭乗者への悪影響を防止することができるという効果もある。

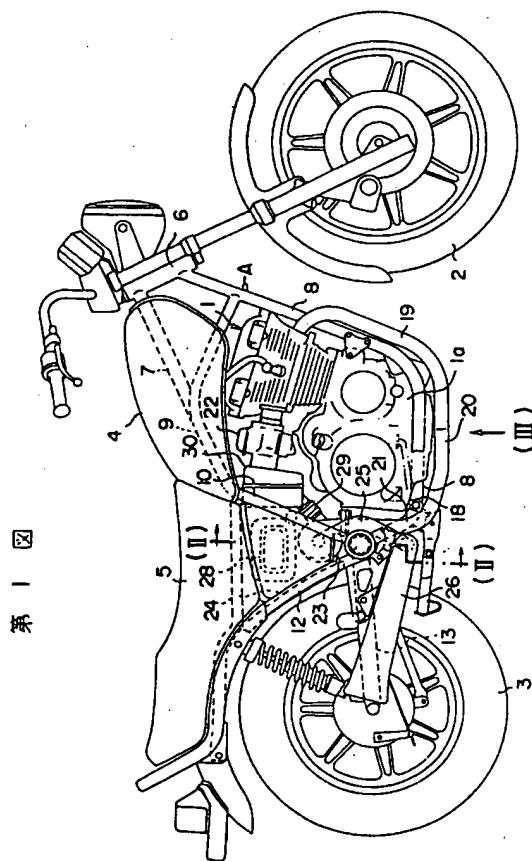
依つて所期の目的を達成し得る。

4. 図面の簡単な説明

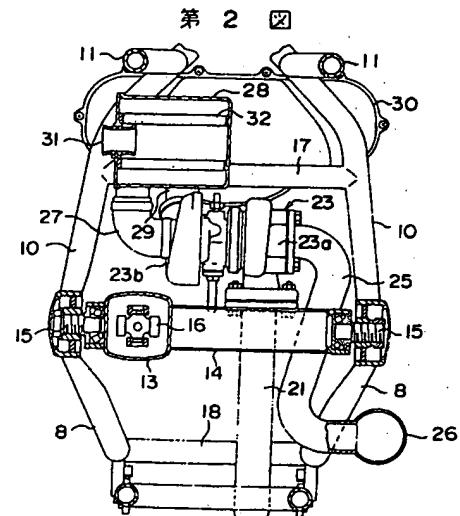
第1図は本発明装置を示す一部切欠側面図、第2図は第1図の(I)-(II)線に沿える拡大断面図、第3図は第1図における仰視拡大図である。

尚國子

(A)…車体フレーム (1)…エンジン
 (3)…後輪 (9)…エキゾーストパイプ
 (2)…集合部 (4)…ターボチャージャー



一
第



第 3 四

